沖縄県立看護大学教育実践紀要投稿規程

1　名称

本誌の名称は「沖縄県立看護大学教育実践紀要」（英文名：Bulletin of Okinawa Prefectural College of Nursing for Educational Practice）とする。

2　発刊の趣旨

沖縄県立看護大学における教育活動の質向上に資することを目的とする。

3　投稿の資格

投稿者（筆頭著者）は、本学の教員または紀要編集専門部会（以下、「専門部会」とする。）が執筆を依頼した者とする。投稿者は、当該教育活動に参画した者、実習指導者、大学院生、非常勤講師などを連名投稿者にすることができる。

4　投稿の条件

人および動物を研究対象とする場合は、研究対象に対する倫理的配慮がなされ、そのことを論文中に記載すること。なお、学生（学部、大学院、別科助産専攻）や受講生（公開講座、セミナー、ワークショップなど）から得た教育活動記録（課題レポート、実習記録、試験結果、授業評価など）を研究資料とする場合、資料提供者から承諾を得る必要がある。その際、成績評価とは無関係であること、分析結果から個人が特定されないこと、資料提供の可否は資料提供者の自由意志であることを説明し、これらの過程を投稿原稿に明記することとする。なお、写真は被写体となった人物から事前に掲載の許可を得て（様式第１号）、原稿に添付すること。ただし、個人が特定できない場合はこの限りではない。

5　投稿原稿の種類

投稿原稿の種類は原則として「実践報告」とする。

実践報告：看護学教育に関する実践のうち、教育の向上、改善、発展につながる論述とする。

（注）実践報告に準ずる原稿は紀要編集専門部会の審議を経て資料または付録としてつけることができる。

6　投稿原稿の構成

構成は、はじめに、方法、結果、考察、結論、謝辞、文献を原則とする。抄録は、表題、著者名、所属、キーワード（5 個以内）、抄録本文とする。抄録本文は、教育改善の目的、対象と方法、結果、結論が分かるように簡潔にまとめる。和文または英文どちらでもよい。ただし、英文抄録の場合は当該研究テーマを専門とし、かつ英語に堪能な研究者等のチェックを受けたことを証明するものを提出すること。

1) 構成は、はじめに(Introduction)、方法(Methods)、結果(Results or Findings)、考察(Discussion)、結論(Conclusion)、謝辞(Acknowledgement)、文献(References)とする。

また、本文構成を段階的に記述する場合、段階番号は、1. 2. 3. ・・・とし、1. をさらに細分化する場合には 1) 2) 3)・・・とする。

2) 投稿原稿には英文(300 語程度)および和文(600 字程度)の抄録を付ける。抄録は表題、著者名、所属、キーワード（5 個以内)、抄録本文とする。抄録本文(Abstract)は、背景(Background)、目的(Objective)、研究デザイン(Study Design or Methods)、結果(Results)、結論(Conclusion)などがわかるように簡潔にまとめる。

3) 英文抄録は次の要領でまとめること。

(1) 英語のタイトルは次のようにする記述すること（最初の文字のみ大文字にすること)。

＜例＞Parenting behaviors of young mothers on a remote island of Okinawa: A comparison with other mothers

(2) Key Words は、次のように固有名詞以外は小文字で記述すること。

＜例＞semi structured interview, triangulation, action research, QOL, Nuremberg Code

4) 資料や付録の構成は別途定める。

7　投稿原稿の採否

投稿原稿の採否は査読により行う。査読者は 2 名とし、うち 1 名は、学外者も含めて投稿者が推薦できる。ただし、推薦者がいない場合、査読者 2 名の決定は紀要専門部会が行う。

なお、査読結果から「倫理的な問題」が危惧される場合は、「沖縄県立看護大学研究倫理審査委員会」または「沖縄県立看護大学研究不正防止計画推進委員会」へ審議を依頼する場合がある。

8　校　正

投稿者による校正は再校までとする。

9　原稿作成上の留意点

1) 原稿は、和文または英文とする。原稿（図、表、写真などを含む）１部と、原稿を保存した CD－ROM、または USB メモリを提出する。図、表は原則としてオリジナルとし、引用、一部複写、一部改変等は、原本の出典を併記する。

2) 原稿は A4 版 40 字(全角)×30 行を１ページとする。英文字、度量衡の単位、外国　　人名はすべて半角（１バイト、ASCⅡコード〕に統一する。℃、㎡、㎏など機種に依存する特殊記号は使用しない。また、カタカナは必ず全角文字（２バイト）とし、半角文字（１バイト）では表記しない。イタリック体ギリシャ文字など特殊な字体、記号はその都度明確に指定する。書体は、和文の場合「MS 明朝 10.5 ポイント」とし、英文は「Times New Roman 11.0 ポイント」とする。

3) 原稿の分量は原則として 5～30 ページ（図、表、写真などを含む）とする。

4) 文献の引用

本文中における文献の引用は、著者名と出版年を記載する。同一著者の同年刊行の文献の場合は年号の後に a, b,…を附す。

（例）著者１人：　金城(2009)によれば…，佐久川(2009a)によれば
…と報告されている（前田，2010a;前田，2010b）
著者２人：　上原・小池（2011）によれば…
著者３人以上：高橋ら（2012）によれば…
Ueda et al（2010)…
…（Ueda，2010a；Ueda et al，2011）.

5）文献の記載

引用文献は原稿の最後に著者名のアルファベット順に一括して記載する。その順序は、著者名、出版年、文献題名、雑誌名（出典名)、巻（号)、ページとする。なお、和文英文を問わず、著者名間、記載項目間はカンマ区切りとする。

(1)　雑誌

著者名（著者は全員を列挙する）(発行年次). 表題，掲載雑誌名，号もしくは巻(号)，最初のページ数－最後のページ数.

＜例＞

①下中壽美，井上松代，玉城清子，金城芳秀，西平朋子，賀数いづみ(2009).「妊婦ふれあい体験学習」が高校生１年生女子のライフプラン，妊娠・出産・育児の認識度に及ぼす影響，思春期，　27(2)，　194－203.

②Goldberg S, Beboit D, Blokland K, and Madigan S. (2003). Atypical maternal behavior, maternal representations, and infant disorganized attachment, Development and Psychology, 15, 329-357.

(2)　単行本

著者名(発行年次). 書名（版数），　出版社名，　発行地.

＜例＞

① 上田礼子.(2006).生涯人間発達学　(改訂第２版)，三輪書店，東京.

② World Health Organization.（1992）. International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems (10th ed), World Health Organization,　Geneva.

③ Rothman, KJ.(2002). Epidemiology An Introduction, Oxford University Press, Oxford.

(3)　分担執筆の本

分担著者. (発行年次). 論文のタイトル，編者名，書名（版数），ページ数，　出版社名，　発行地.

＜例＞

① 前田和子. (2001). 自己概念と自尊心，小松美穂子,奥宮暁子,前田和子,堀内ふき，人間理解のための看護的アプローチ(第１版),1-11，医学書院，東京.

② John Pearce(2003).Identifying psychiatric disorders in children, Elena Garralda & Caroline Hyde,(Eds.), Managing children with Psychiatric Problems,3-17,BMJ Publishing Group, London.

(4)　訳本

原著者名.(原著の発行年/ 翻訳書の発行年). 翻訳者名(訳). 訳本書の書名（版数），出版社名，　発行地.

＜例＞

Holloway I and Wheeler S. (2002 / 2006). 野口美和子(監訳), ナースのための質的研究入門, 研究方法から論文作成まで, (第 2 版), 25-30, 医学書院, 東京.

(5) ウェブサイト

厚生労働省.(2008).平成 18 年　国民健康・栄養調査結果の概要について. www.mhlw.go.jp/houdou/2008/04/h0430-2.html　(2009 年 7 月 15 日現在).

(6) その他

(1)～(5)のいずれにも該当しない引用文献の記載方法については専門部会が協議し書式を決定する。

10　著作権

著作権は沖縄県立看護大学に帰属する。但し、沖縄県立看護大学学長から許可を得て、著者（共著の場合は著者全員の総意のもと）による著作権の行使を妨げるものではない。

なお、著作権譲渡同意書（指定の様式）に著者全員が署名して、最終原稿提出時に添付すること。

11　公　開

（１）「沖縄県立看護大学教育実践紀要」は、大学ホームページで公開する。

（２）「沖縄県立看護大学教育実践紀要」は、著者の意向により、時機を得た冊子化、書籍化を可能とする。

12　投稿期間

投稿期間は、原則として毎年 3 月 15 日～6 月 15 日とする。

13　諸経費その他の必要事項は別途定める。

（作成年月：平成 25 年４月）

(第１次改訂年月：平成 26 年７月）